鳴鹿 まほろば

編集・発行　鳴鹿まちづくり推進協議会・えがお発信部会・鳴鹿コミュニティセンター
鳴鹿コミュニティセンター　丸岡町上金屋 5-10-12
TEL.66－7452　naruka-cc@city.fukui-sakai.lg.jp
鳴鹿第二コミュニティセンター　丸岡町新鳴鹿 1-159
TEL.66－1094　naruka2-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

第42号
（令和6年3月27日発行）

鳴鹿の人口
（令和6年2月29日現在）

世帯数	629戸
人　口	1,693人
男	869人
女	824人

春の夕暮れ
六呂瀬山古墳から鳴鹿を望む

令和6年　鳴鹿地区区長会役員紹介

2月10日(土)の鳴鹿地区区長会総会にて、令和6年の役員が決まりましたのでお知らせいたします。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

〈役員〉

会長	東　明正
副会長	下川健一郎
〃	寺岡　宏治
監事	嶋田　尚人
〃	小川　学

〈各区区長〉

東二ツ屋	大谷　剛央
上金屋	下川健一郎
楽間	花房　次夫
為安	伊東　清
寄永	井関　幹男
友末	関澤　慶治
坪ノ内	東　明正
下久米田上	小川　学
下久米田下	元井　健史
上久米田	大城　光弘
近庄	嶋田　尚人
六呂瀬	小林　英樹
金元	藤井　茂樹
新鳴鹿一丁目	寺岡　宏治
新鳴鹿二丁目	久冨　理
新鳴鹿三丁目	大宮　進一

ごあいさつ

鳴鹿地区区長会会長　東　明正

新年早々、能登半島震災に遭遇し、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

内憂、外憂と我々を取り巻く環境は、決して明るいものではありませんが、改めて平穏無事の大切さを知りました。日頃からの防災意識の重要性を再確認した次第です。

昨年から新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域活動も徐々に再開されています。行事等を通して笑顔あふれる地域にしていきたいと考えています。

鳴鹿地区の皆様におかれましては、健やかにお過ごしされる事を祈念し、今年一年のご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

なるかっこだより

「大谷 翔平」選手からグローブ届いたよ。さっそくダブル大谷くんが大谷グローブをはめて、キャッチボールしたよ！

13名のみなさんご卒業おめでとうございます

部会委員の ちょっと聞いての

梅の花や木々が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。自分は晴れてポカポカ陽気ですと、特別なことがあるわけじゃないけれど、なぜか毎年心がウキウキします。

さて、本号の発行で今年度の「まほろば」が最後になります。年間4回の広報誌を読んでいただいた皆様、取材や原稿作成にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。来年度も、より一層鳴鹿地区の情報を発信するとともに、広報誌を通じて人と人の繋がりを深めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

（Y・D）

辰川センター長の 春夏秋冬

4月新年度が始まります。今年2回目のスタートです。

お正月に能登半島地震に遭遇し被害を受けた方にはお見舞い申し上げます。新年度を迎え、改めて平穏無事で生活できることに感謝し、老いに負けず、日一日を大事に生きようと思います。

インスタでは、鳴鹿地区の旬な情報もアップしています！いいね、フォロー待ってまーす！

◀鳴鹿コミセン
NARUKACC

◀鳴鹿第二コミセン
NARUKA2CC

いいね！まち協

まち協の事業、活動を紹介します！

できたてお餅おいしいね

12月23(土)

冬休みが始まった日、鳴鹿第二コミュニティセンターで「餅つき会」を開催しました。

例年だと、鳴鹿小学校ではコシヒカリを育てるのですが、今年は5年生が、田植えから稲刈りまで皆で力を合わせてもち米を育てました。稲穂は、グランドの鉄棒にかけて乾燥させ、籾摺りは上金屋区の堂庭さんが手伝ってくださいました。

一生懸命育てたもち米、子ども達だけで食べるのはもったいないので、お世話になっている近所の人達と一緒に食べようと、すこやか元気部会が「冬休み子ども教室」として企画しました。

当日は、「むつみの会」（新鳴鹿区）のご指導のもと、朝早くからもち米を蒸したり、準備をして頂きました。子ども達と部会のメンバー、そして校長先生、教頭先生、担任の先生に来て頂き、大いに賑わいました。

初めて杵を持つ子ども達は、ふらふらしながらも、杵を高く上げ、餅をつきました。つきあがった餅は「アツー」と言いながら、子ども達の手により、まん丸のお餅になりました。きな粉餅、おろし餅、「ウーうまい」の声で、2階の和室はあふれていました。来年も出来たらいいなと思うばかりでした。

（委員長　酒井）

クリスマスコンサート2023

12月16(土)

今年から「指揮者体験」が復活。最初はなかなか恥ずかしくて手を挙げてくれない子ども達（汗）そこへ山田校長先生が子ども達の緊張をほぐすために、トップバッターを務めてくださいました。それを見た子ども達、遠慮していた手を大きく挙げて指揮台に。指揮棒（タクト）を振りかざし、立派に演奏を奏でていました。

ご協力いただきました「福井大学医学部管弦楽団」のみなさん、素敵な演奏と指揮者体験のクリスマスプレゼントをありがとうございました。

地域の活性化・防災強化を熱く語る！

3月1(金)2(土)

鳴鹿地区の今後のまちづくりを考える一助とするため研修会を開催し、市職員から、地域住民主導が鍵の「地域住民が幸せを実感できるまちづくり」、地域の特性に合った「地区防災計画」の策定等について説明があり、参加者からは、少子高齢化への対応は待ったなし速度感のある対応を、遠くない限界集落の生き残り策を示して、などなど、多くの質問・要望が発せられ、大変有意義な研修会となりました。

（えがお部会委員長　前川）

命をつなぐAED

2月4(日)

AED（自動体外式除細動器）講習会を、嶺北消防署の協力を頂き、区長さん及びしあわせ安心部会の会員が集まり、鳴鹿コミュニティセンターで開催しました。

1月1日には能登半島地震が起きており、参加者22名は緊張感を持って熱心に取り組みました。まずは大きな声で呼びかけて、全員が胸骨圧迫・人工呼吸を、交代して何度も練習しました。いざ自分がこのような状況に遭遇した場合、落ち着いて出来るのだろうか？とても不安になりましたが、勇気を持ってやろうと思いました。

鳴鹿地区でAEDが設置されている場所は、鳴鹿幼保園、鳴鹿小学校、鳴鹿コミュニティセンター、鳴鹿第二コミュニティセンターです。

（委員長　朝倉）

しいたけの駒打ち

3月2(土)

地域の地産地消を進める企画です。事前に申し込みされた20人が、鳴鹿コミュニティセンターで2回に分かれ、原木を手にしいたけの駒打ちを行いました。参加された方々は、慣れた手つきで原木にドリルで穴をあけ、木槌でトントンと良い音を鳴らし気持ちよく駒を打っていました。来年の12月には肉厚の美味しいしいたけが、食卓に並ぶことでしょう。

「六呂瀬山古墳」ガイド募集します

まほろば歴史部会からのお知らせです。鳴鹿地区にお住まいの方から、県内外から訪れる方に古墳の魅力を説明していただく「六呂瀬山古墳」のガイドさんを募集します。古墳にふれあい、新しいことに挑戦し、一緒に感動しましょう！

昨年は、滋賀県高島町・三重県鳥羽市から各10名程のグループ、他に近郊の石川県や岐阜県からの小グループの方も見学に来られました。北陸最大の古墳なので、興味ある方は沢山おられるようです。

我々が住むこの鳴鹿を県内外の方に知って頂く為に、一緒に楽しく、活動しませんか？

【問い合わせ先】
鳴鹿コミュニティセンター
☎66−7452

まち協Info

◆令和6年度　鳴鹿まちづくり推進協議会総会

4月10日（水）予定

◆部会員を募集しています

鳴鹿を盛り上げるために、一緒にまちづくりに参加しませんか？興味ある方↓までご連絡ください！

事務局：鳴鹿コミセン内　☎66−7452

コミセン講座

たくさんのご参加
ありがとうございました

丸岡地区コミセン共催講座「私もみんなも元気になるWell-Beingのヒント」

12月2日(土)

パネルディスカッション

ファスティングと腸活

ファスティングとは
一定期間食事を断つこと

筋膜リリース

ヨーガセラピー

そば打ち体験 12月3日(日)

うまく四角に伸ばせるかな！

おうちで作ろう！オヤジ飯

12月14日(木)

メニュー：焼飯、中華風スープ、杏仁豆腐

鳴鹿第二放課後子ども教室「クリスマスケーキづくり」

12月20日(水)

コミセンからのお知らせ

令和６年度
コミセン講座が始まります！

【鳴鹿コミセン】
☆青空野菜塾
☆やさしい太極拳
☆そば打ち体験

【鳴鹿第二コミセン】
★健康ヨガ教室
★ハツラツ体操

詳しくは４月に全戸配布されるチラシをご覧ください。

【Web 講座】六呂瀬山古墳のお話　５月 15 日(水)～坂井市 HP で視聴できます

知ル見ル naruka

✓耳寄り情報
✓地域の話題

どんな事でも
お聞かせ
ください

令和６年1月1日午後４時10分、今までに経験したことのない大きな揺れを感じました。能登半島地震です。
最大震度7、坂井市でも震度5弱を観測しました。地震発生時の行動など、えがお発信部会の前川委員長がその想いを語ってくださいました。

○発生時
・外出先で車を運転中、運転は妻が。経験したことのない揺れを感じ、ハザードランプを点灯しつつ路肩に停車
・停車後、家にいる家族（帰省中の息子）に電話し、家族の安否を確認（木造2階建ての古い家で耐震化も行ってなく、地震での倒壊が心配）
・火の元を確認のうえ、家の内・外に異常がないかを確認するよう指示（部屋の壁の一部が剥離落下。人的被害はない）

○今回の地震で思うこと
・いつ発生するかわからず家族が一緒とは限らないので、日ごろから万一の場合の行動すべきことや避難先、家族間の連絡の方法を話し合っておく必要がある
・携帯電話を常に持ち歩き、充電を早め早めに行っておく
・水、食料（保存のきくもの）や携帯トイレは、数日間程度分は備えておく等々

◎自分たちの命を守るためには、どう考え・行動すべきか…
そこで、えがお発信部会では鳴鹿地区の避難所・備蓄倉庫等を再確認することにしました。
鳴鹿地区では、
指定避難所 ※1・・鳴鹿小学校
自主避難所 ※2・・鳴鹿コミュニティセンター、鳴鹿第二コミュニティセンター　となっています。
鳴鹿小学校校舎横には、備蓄倉庫と貯水槽があります。備蓄倉庫の中には非常食・飲料水・毛布・段ボール（ベッド用）・簡易トイレ等が備蓄されています。各コミセンにも毛布等、備蓄品はありますが、いずれも数に限りがあります。なので、各ご家庭で防災意識を持ち、防災グッズなど日頃から備えておくといいですね。

※1　災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設

※2　避難指示（緊急）の発令によるものでなく、河川の増水や暴風の発生等の風水害発生のおそれが高まった際に、自宅等に居続けることに身の危険を感じた方が、安全を確保するため、早期にかつ一時的に避難する場所

いざという時のために、坂井市の災害、避難所情報行政アプリ（携帯電話に入れると便利なアプリ情報）をダウンロードしておいてはいかが！

さまざまな情報で、被災前・被災後を
強力にサポートします

こちらからダウンロード

App Store からダウンロード

Google play で手に入れよう

アプリ動作環境
Android 4.4 以降　iOS 9 以降